

市議会だより



発行 伊東市議会 議長 久保谷 廠司
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通) FAX38-6916

大室山



① 災害救援ボランティア伊東

伊東市全図を使用した災害時図上訓練(DIG)
(平成22年総合防災訓練・保健福祉センター)

ボランティア活動を求める被災者と活動をする人を結びつけるために、災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営をします。



② NPO法人伊東里山クラブ

宇佐美・巢雲山ハイキングコース整備
大丸山の山道を歩きやすく整備しました

自然景観づくり、ハイキングコース整備などを通じ里山に多くの人に関心を持ってもらう活動を行っています。



③ 伊東健脳健身クラブ

毎月26日(風呂の目)無料体験中
(マリンタウンシーサイドスパ)

認知動作型トレーニングマシンで大腰筋を鍛えて転倒防止



④ NPO法人郷組

2010年6月子供会ジャガイモ収穫(食農体験)

里山を再生し、市民農園を開設しています。

伊東市を支える協働の
カ
その5

表紙は「いとろ」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 3月定例会の概要.....【P.2】
- 代表質問(6議員が登壇).....【P.6】
- 一般質問(4議員が登壇).....【P.9】
- 常任委員会だより.....【P.11】
- 特別委員会報告.....【P.12】

活動団体の問い合わせは

- ① 災害救援ボランティア伊東
事務局(伊東市社会福祉協議会) → TEL 36-5512
- ② NPO法人伊東里山クラブ
代表理事(高野政英) → TEL 090-6574-5019
- ③ 伊東健脳健身クラブ
会長(森久雄) → TEL 45-6365
- ④ NPO法人郷組
理事(小澤寿男) → TEL 090-2344-5113

平成23年3月定例会

平成23年度一般会計予算を賛成多数で可決！
8特別会計、2企業会計についても可決

3月定例会を2月24日から3月24日までの29日間の会期で開会しました。

市長施政方針（要旨）

第四次伊東市総合計画が始動する節目の年を迎えるに当たり、「豊かな自然の中で、人々が夢を持つことができる郷土をつくり上げる」という私の政治信条を、再度、強く心に刻むとともに、先人が築き上げた歴史・文化、風光明媚で豊かな自然は、次世代に継承しなければならぬ、すばらしい財産であると改めて認識しております。

現在、我が国の経済・社会環境は厳しく、かつ大きく変動しつつある中、強くなりリーダーシップのもと、知恵を絞り、工夫を凝らし、常にチャレンジする情熱をもって自主性の高い市政運営を進めてまいります。

また、新年度は、「いとう8Kの協創・実践」を合言葉に、市民の皆様と協働し、八つのKを確実に実践していくことで、伊東創造の実現を目指してまいります。特に、新市民病院を、高

度な医療需要にこたえ、健康保持や保健予防にも寄与する病院として、平成25年春の開院を目指して建設工事を進めてまいります。

さらに、伊東八景・伊豆半島ジオパーク構想を推進することなど新たな魅力の創出による観光誘客や、地震・異常気象による自然災害、新型インフルエンザ等のあらゆる危機に備えて、危機意識の高揚と防災技能の向上に努めるとともに、「伊東市システム」の徹底とP・D・C・Aマネジメントサイクルの定着を図るほか、新たな行財政改革大綱を策定し、さらには高度化した行政ニーズに柔軟に対応するための組織改正に着手してまいります。

総合計画では、「ずっと住みたい また来たい 健康保養都市 いとう」の将来像を目指し、市民の皆様とともに夢と希望の実現に全力を尽くしてまいります。

(1) 伊東創造を実現するための重点施策である「健康、観光、改革、経済対策、子育て支援、教育、環境、危機管理」のこと
(2) ITOシステム = 現場主義 (Information) ・ 目的指向 (Target) ・ 意識改革 (Oriented) システムの略

平成23年度各会計予算

全会一致で可決、賛成多数で可決（単位：千円、%）

区 分	当初予算額	前年度対比	審議結果	
一 般 会 計	22,880,000	101.8		
特 別 会 計	下 水 道 事 業	2,132,000	94.4	
	競 輪 事 業	13,686,000	97.4	
	国民健康保険事業	10,154,000	103.1	
	土 地 取 得	150,750	462.4	
	霊 園 事 業	122,200	171.4	
	介 護 保 険 事 業	5,432,564	104.8	
	介護老人保健施設	85,700	166.4	
	後期高齢者医療	1,420,520	105.6	
	老 人 保 健		皆減	
病 院 事 業 会 計	2,067,392	45.4		
水 道 事 業 会 計	2,823,611	99.3		
合 計	60,954,737	97.2		

老人保健特別会計は、平成22年度をもって廃止されました。
病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

主な新規事業

（全体では84の新規事業があります。）
（千円）

固定資産路線価図等作成業務	8,800
クリーンセンター汚泥貯留槽腐食対策事業	10,000
清掃自動車購入事業	13,650
ヒブワクチン予防接種事業	7,578
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業	10,682
花火大会開催強化事業	7,500
伊豆半島ジオパーク推進事業	20,896
伊豆観光圏整備推進事業	9,954
伊東公園整備事業	12,031
城ヶ崎海岸橋立吊橋景観整備事業	30,000
耕作放棄地対策補助事業	1,000
伊東食彩八景創造事業	1,000
小室山線歩道整備事業	20,226
耐震性貯水槽建設事業	13,000
普通消防ポンプ車・高規格救急車購入事業	99,190
小学校指導用教科書改定事業	8,500
富戸幼稚園耐震補強工事	32,104
農地地図情報システム開発事業	9,500

本会議で
行った討論
(概要)



平成23年度一般会計予算起立採決

平成二三年度伊東市一般会計予算

《反対》 日本共産党

小規模修繕工事や住宅リフォーム助成事業などの中小業者への支援策、生活保護費の増額、清掃工場更新計画等は支持するが、平成一七年以降、毎年市費を投じてマリントウンの施設改修を行っている一方、設置が要望されている町なかの案内標識の予算化がされていないことには納得できない。

また、厳しい財政事情のもと、使途目的のない土地購入は慎重さが必要で、子

供の貧困への対策も強化すべきであり、また、特別養護老人ホームの入所待機者が四〇〇人を超える事態への対策は大きな課題である。さらに、ごみ指定袋の小袋を求める市民の要望にはアンケート等が実施されるべきで、総合計画に掲げた市民との協働を大切にすべきと考え、反対する。

しかし、さきの東日本巨大地震に伴う未曾有の被害による影響が日本じゅうを覆っているとき、市が行うさまざま取り組みに対し、市民の知恵、力も借りながら、私たちも市民と力を合わせ、支援を惜しまない。

《賛成》 民主党・刷新の会
東北関東大震災に係る被災地へ支援が優先されることは当然であるが、閑散とした市内を見るときに、どうすれば市民生活への影響を軽減できるのかを思慮してやまない。

こうした中、伊東創造戦略事業と銘打って出された八四の新規事業等を含め、緊急性が低く、後年度への

先送り等、見直しが可能な事業については、再度検討を求めるとともに、支援活動につながるイベントの実施など、観光業を含めた市内経済への対策も強く望むところである。

さらに、今回の災害を教訓に、公共施設の早期耐震化の必要性を強く感じ、再度の点検など、安全保持への対応を要望する。

これまで実施されてきた緊急経済雇用対策に引き続き予算配分を行ったこと、行財政改革の推進により、一定の財源確保を進めたことなどは、評価できるものであり、この未曾有の災害への対応も含め、予算の執行にそのないように取り組むことを望み、賛成する。

《賛成》 公明党
我が党の要望が随所で汲み取られ、厳しい財政状況の中から、多くの事業に取り組む予算が生み出されている。

また、予算編成に当たり、提言した、「地域の暮らしの安全・安心」における、

地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築、ICT(情報通信技術)を利活用した地域における見守り・外出・買い物等の生活支援サービスの充実、「輝く地域社会の実現」における、国内外の観光客招致のための受け入れ体制の整備

医療・観光、農業・商業・工業などの連携による、新たな経済対策への取り組み、「地域主権」における、身近な行政サービスを充実させる住民本位の地域づくりなどについて、前向きな姿勢が示されたことを評価し、新年度予算に賛成する。

なお、東日本大震災の影響により、本市においても今後、自主財源の確保等、かつてないほどの試練が予想されるが、市長の強力なリーダーシップと全職員の実力の結集に期待する。

《賛成》 清峰クラブ
東日本大震災は、日本経済の先行きが見通せないほどの大打撃を与えており、本市でも、観光関連業界、交通機関はもとより、市民

生活に多大な被害を受けている。市民生活の安定のため、早急な緊急経済対策等の実施を望むものである。

新年度一般会計予算は、対前年度比一・八%増ではあるが、個人市民税や入湯税収入の落ち込み等、本市財政は依然として厳しい状況にある。そうした中、新市民病院の建設工事が始まることは、市民等の医療に對して非常に心強く、大いに期待できるものである。

さらに、市民の皆様が夢と希望を持ったための「いう8K」として示されている重点施策に基づき、数々の新規事業など、きめ細やかな配慮が随所に見受けられる予算配分がされている。これも、市長就任以来、行財政改革に取り組んできた成果であり、今後、「伊東市システム」のさらなる徹底・定着を図り、伊東創造に向けて前進されることを要望し、賛成する。

《賛成》 正風・興志会
財政基盤の安定性と行政活動の自立性は、年々低下

市 議 会 だ よ り

しており、義務的経費の構成比が五六・六％に上る一方、投資的事業費の構成比は六・九％にとどまり、財政の硬直化がうかがえる。

このような厳しい状況の中、「伊東創造の実現」を目標に、行財政改革の取り組みを継続するとともに、市政運営に当たっては、市民生活の一層の向上を図ろうとする姿勢や、現場主義の視点で、市民の行政ニーズを的確にとらえ、国・県や関係機関に対し、市長みずから積極的に対応する姿勢や、着実に実績と成果を上げている点については、高く評価する。

しかしながら、このたびの大災害を目的に、自然災害に対し、財源確保を含め、万全の備えを強く要望するものである。

市長においては、一〇年先の本市の具体的な行財政状況を見据え、ぶれないリーダーシップを発揮され、市民生活と福祉の向上を図られることを要望し、賛成する。

公契約条例の制定を求める陳情

《採択に賛成》日本共産党

本市において、指名競争入札制度のもと、最近では低入札調査基準価格より低い入札額となり、低入札価格調査の対象となる入札も多く見られるようになっていくが、調査の結果、その低入札業者が落札し、その入札価格は予定価格の五〇％を割り込む例も見られる。

次の仕事につなげたいとする業者の意向なども伝えられてきているが、そこで働く労働者や、その下請けで働く労働者の賃金まで調査されなければ、「官製ワーキングプア」を自治体が生み出すことになってしまう。本来なら、国がILO第九四号条約を根拠とする公契約法を定めるべきであるが、住民の安心・安全を保障しようとする本市の方針からも、働く人々の労働条件を保障するためには、公契約条例を制定すべきと考え、本陳情の採択に賛成し、委員会の決定に反対する。



市議会 3 月定例会で審議した議案など

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第17号	平成22年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第2号)専決処分の報告承認について	伊東温泉競輪開催に際し、歳入に車券売上金、歳出に、これに伴う開催経費の不足額として6億1,085万5,000円を追加するため、平成23年1月21日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第52号	伊東市国民健康保険条例の一部を改正する条例	出産育児一時金の支給額について、時限措置として4万円を加算し、39万円としてきたが、平成23年4月1日以降これを恒久化するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第53号	市道の路線認定について	都市計画法の開発行為で整備され、その後市に移管された道路、県の河川管理用道路を占用し、すでに市が管理している道路、寄附要件を満たし、市に寄附されている道路など、58路線9,546.7mの市道の路線認定	市長	全会一致で可決
市議第54号	平成22年度伊東市一般会計補正予算(第5号)	医療施設設置基金への寄附金の積み立て、焼却灰溶融固化処理委託経費、宇佐美漁港整備事業工事費の追加、人件費の整理、子ども手当給付額の確定による減額など各種事務事業経費の整理、各特別会計への繰出金の増減、国の「住民生活に光をそそぐ・きめ細かな交付金」を活用した図書館、小・中学校、幼稚園、保育園等の図書購入費の追加、御石ヶ沢清掃工場で使用する作業用車両購入費、斎場空調整備工事費、門野中学校テニスコート改修工事費、観光会館調光卓購入経費などを追加するほか、財政調整基金5,000万円を含む1億5,992万6,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第55号	平成22年度伊東市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	歳出では受益者負担金前納奨励金、漏水などによる使用料の減免に伴う還付金等、歳入では水洗便所改造等資金貸付金元利収入など、94万8,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第56号	平成22年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	歳出では退職被保険者等療養給付費、一般被保険者療養費、介護納付金、共同事業拠出金などの減額、歳入では一般会計繰入金金の追加など、1億6,778万4,000円の減額	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第57号	平成22年度伊東市老人保健特別会計補正予算(第1号)	本会計は平成22年度をもって廃止することが決定しており、医療給付費、医療費支給費などの減額整理のほか、剰余金を一般会計繰入金として措置するなど、695万2,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第58号	平成22年度伊東市霊園事業特別会計補正予算(第1号)	歳出では人件費の整理や墓地永代使用の返還に伴う使用料還付金の追加、歳入では新規の墓所使用料の追加のほか、一般会計繰入金金の減額で、29万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第59号	平成22年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	歳出では介護予防事業費の減額整理など、歳入では事業費の減額に伴う国・県支出金、支払基金交付金、一般会計繰入金金の減額など、1,162万9,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第60号	平成22年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳出では後期高齢者医療広域連合納付金の追加、歳入では保険料、繰越金、平成21年度後期高齢者医療広域連合運営費負担金返還金などの追加のほか、一般会計繰入金金の減額など、1,805万9,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第61号	平成22年度伊東市病院事業会計補正予算(第1号)	収益的収入は8,960万9,000円、収益的支出は1億1,654万3,000円の追加、資本的収入は2億7,993万9,000円、資本的支出は2億7,810万円の減額	市長	全会一致で可決
市議第62号	平成22年度伊東市水道事業会計補正予算(第3号)	資本的収入は704万1,000円の追加、収益的収入は499万9,000円、収益的支出は3,089万6,000円、資本的支出は8,226万1,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第63号~市議第73号	平成23年度伊東市一般会計予算、以下、8特別会計と2企業会計	予算の概要については、2ページをごらんください。	市長	2ページをごらんください。
市議第74号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	住居手当の支給要件及び支給額、通勤手当の積算額である自動車通勤に伴う駐車場代金の上限、時間外勤務手当の時間数の積算方法等について改定するための条例改正	市長	賛成多数で可決
市選第1号・市選第2号	副市長選任の同意について	石井勇氏(富戸)再任 原 崇氏(湯川)再任	市長	全会一致で選任に同意
発議第5号	J K A 交付金制度の改善を緊急に求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員6名	全会一致で可決
発議第6号	東北関東大震災災害復旧、復興に対する支援決議	東北関東大震災による市内経済への間接的な影響を憂慮しつつ、被災者が一刻も早く従前の生活に戻れるよう、積極的な支援を行うことについて、全議員により、決意を表明するもの	議員6名	全会一致で可決
発議第7号	E P A ・ F T A 及び T P P への対応に関する意見書	内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員13名	賛成多数で可決
陳情第9号	公契約条例の制定を求める陳情	陳情者：官製ワーキングプアをなくす委員会 会長 増田和明氏		不採択とすべしとした委員会報告に対し賛成多数で不採択
陳情第11号	E P A ・ F T A 及び T P P への対応に関する意見書の採択を求める陳情	陳情者：あいら伊豆農業協働組合 J A あいら伊豆農政対策協議会 本部長 藤原謙次氏		採択すべしとした委員会報告に対し賛成多数で採択

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょう。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができますので、希望される方は、議会事務局(市役所低層棟三階)まで気軽にお越しください。

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か ?

閉会中の議会活動

平成22年12月定例会閉会後平成23年3月定例会開会まで

平成22年 12月15日	常任観光建設委員会協議会 常任福祉文教委員会協議会
平成23年 1月 7日	議会報編集委員会
1月12日	議会改革特別委員会
2月 1日	議会改革特別委員会
2月 7日	医療問題特別委員会
2月 9日	常任観光建設委員会協議会
2月18日	議会運営委員会

こ と ば の 解 説

(総合計画)
地方自治法に基づき策定され、地方自治体におけるすべての計画の基本となり、行政運営の総合的な指針となる計画である。

伊東市第四次総合計画は、市民の皆様のご意見等も伺いする中で策定されたものであり、平成二三年度以降一〇年間のまちづくりの構想が盛り込まれている。



傍聴席から見た本会議の様子

平成二三年三月定例会の傍聴者は二五人でした。

代 表 質 問

平成23年度 各会計予算及び市長の政治姿勢について
(全会派から)6 議員が登壇 (登壇順に掲載)

「伊東市が所有する公共建築物耐震化計画」の進捗状況と完了の見通しについて



民主党・刷新の会
鈴木克政 議員

平成二二年三月に改訂された耐震化計画では、対象建築物は五〇棟あり、そのうち、教育施設が三五棟ある。平成二二年度に二棟の耐震化が完了し、平成二三年度は七棟の耐震化工事に着手する予定であるが、二六棟が残る。

教育施設以外にも一五棟あるものの、耐震化の話は聞こえてこない。そこで、市有建築物の耐震化の進捗状況と完了の見通しについて伺う。

平成二七年度までに一定の成果を上げていきたい

市長

平成二二年度及び平成二二年度に計四棟の教育施設の耐震補強工事を実施し、

平成二三年度には、南中学校校舎等の補強計画・実施設計を行うこととし、北中学校においては、耐震性能が低い旧校舎の特別教室を本校舎内へ移転する工事などを予定している。

平成二二年度末に、耐震化が完了していない四八棟については、財政状況等を踏まえ、計画に基づいて、平成二七年度までに一定の成果を上げていきたい。

『その他の質問項目』

二三年度予算編成に係る市長の政治姿勢について
・本格的な建設工事に入った新病院建設事業の問題への対処について

・環境美化センター更新改良整備事業について

・予防接種・がん検診等の予防医療について

・「ジオパーク」及び「観光圏」について

・「中央区立宇佐美臨海テニスコート」と「松川藤の広場隣接地」の購入基準について

・新たに建設される霊園の建設計画等について

・市内商工業の現状と振興策について
・鳥獣被害対策について
・集中豪雨による側溝のはらん対策について



耐震化工事が完了した大池小体育館

国の予算関連法案不成立時の本市の対応について



会 志
正風・興 議員
宮 崎 雅 薫

地方交付税法改正法が成立しなかった場合、自治体へ配分される地方交付税は一一兆円となり、臨時財政対策債等も皆無となる旨、全国市議会旬報に掲載されていた。本市の新年度予算

では地方交付税二〇億円、臨時財政対策債一〇億四七〇〇万円等の歳入を見込んでいるが、法案不成立時の財政運営に対する考えを伺う。

また、市民病院において、外来患者の診療待ち時間が非常に長いとの意見をよく聞くが、待ち時間の短縮を図ることはできないか。

国への依存財源の保障がなくなり、深刻な影響があると考えられる

市長

関連法案が年度内に成立しない場合には、四月上旬に交付される概算交付分が約二億円減額となり、なおも成立しない場合には、六月交付分も同程度の減額となると考えられる。また、臨時財政対策債も起こせなくなり、さらに、公債特例法が成立しない場合には、財源不足から、地方交付税や国庫支出金が執行される保障がなくなり、深刻な影響があると思われる。

市民病院の診療待ち時間



配分が気になる地方交付税（予算書事項別明細書）

の短縮については、病診連携など医師会等との協議を進め、市民病院からの逆紹介や、症状が安定している患者への薬剤の長期処方など、効率的かつ適正な診療により対応していきたい。

『その他の質問項目』

保育所入所待機児童の現状について

生活保護世帯の自立支援及び就労支援について

消防水利、防火水槽の整備計画及び点検整備体制について

環境美化センターの更新改良整備計画について

幼稚園・小・中学校の学区の見直しについて

中学校の部活動に対する助成について

若者の雇用対策の一環として、観光に結びつけた施設園芸の推進について



輝21 稲葉正仁 議員

生命の基盤である安心・安全な食に対する日本国民の関心は非常に高く、観光立市であり、耕地面積の狭い本市としては、観光に結びつけた施設園芸の推進ができないかと考える。

天候に左右されず、いつでも仕事ができる施設の中で、子育てをしながら、農作物を栽培し、イチゴ狩り感覚で観光客に収穫をさせていただければ、農作物の成り立ちを学ぶことができ、食育の勉強にもなる。

このプロジェクトは、若者の雇用対策としても有効であり、農業振興とあわせて推進を図る考えはないか。

六次産業化への取り組みを進め、雇用の確保等を図る

市長

若者の雇用状況は、冷えたんだ経済の影響を受け、大変厳しい状況であると認識しており、一次産業と観光業が連携し、雇用の拡大が図られることは、観光立市の本市としても、経済活性化にもつながるものと考えます。

農林水産省では、「六次産業創出総合対策」として、農林漁業者の六次産業化に向けた取り組みや、地域産業の創出を支援する対策を講じており、本市でも、農協、漁協、大学の研究機関等、産学官が連携する中で、地域資源を活用した六次産業化への取り組みを進め、雇用の確保等を図りたいと考えています。

議員提案の施設園芸の推進については、民間で進めることが理想で、新たな地域ビジネスや新産業の創出に寄与できるように、議員の指導力と実行力に期待するところである。



6次産業化のパンフレット（農林水産省HP）

『その他の質問項目』

新病院建設におけるインバウンドを活用した人間ドック部門の開設など投資的事業の増加について

ジオサイト構想におけるサイト選定方法と誘客に向けた活用方法について

廃屋等の処理に向けた取り組みについて



清峰クラブ 佐々木 清 議員

西小学校に近接した廃屋については、崩壊など危険な状況であり、通学路にあることから、地元でも除去を望む声があり、景観、防災・防犯の面からも、積

極的な対応を求める。

また、旭小入り口の旧水明荘も、安全面で不安を抱えていると思われるが、このように、長年放置され、除去すべきと思われる建物が多いことから、総合的な対応を求めるが、いかがか。

本市独自の取り組みとして、廃屋の除去に係る経費の補助を行う

市長

新年度から、本市独自の取り組みとして、景観を損ねている建物や、防火・防犯上、支障となる建物の除去に対し、補助を行っていく予定である。

申請については、本人だけでなく、行政区や町内会等が所有者の同意を取りつけて行う場合も対象としていと考えているが、景観保持や美化が進むよう、今後の申請状況に応じ、柔軟に対応していく。

『その他の質問項目』

市長の施政方針について

・市民が夢を持つための市長の政治信条



市内に見られる廃屋

- ・定住人口増加に取り組みプロジェクトの設置など平成二三年度予算案から
- ・観光・医療・介護等の連携による雇用の創出
- ・生活保護者の自立支援
- ・災害時避難施設の整備
- ・別荘・分譲地居住者の高齢化に伴う支援策等
- ・地上デジタル化への取り組みの状況等
- ・本市の教育全般について
- ・学校環境の維持・整備
- ・社会教育と学校教育の連携による教育環境の見直し
- ・人材育成に向けた社会教育施設の充実
- ・中学校における生徒の問題行動に係る対策等

「観光を中心としたまちづくり構想」の推進に關し、総合的に検討する場の必要性について



日本共産党
重岡 秀子 議員

第四次総合計画実施元年として、市民生活の向上や経済発展を目指す市の戦略のうち、「観光を中心としたまちづくり構想」をさらに進める上で、駅前整備、案内標識の設置、障がい者用トイレなどのバリアフリーの推進、地場産業との連携など、関連する部署が知恵を出し合い、総合的に検討する場を設ける必要があるのではないかと思うが、いかがか。

組織機構を横断した連絡調整を行っていく
市長

これまで、各種の整備事業を進めるに当たっては、伊東市移動等円滑化基本構

想などに基づき、バリアフリーの視点を取り入れ、だれにもやさしい調和のとれた施設整備を進めている。

また、主管課以外に關連する課がある場合は、関係部課長会議にて協議を行うほか、プロジェクトチームを設置し、関係各課と必要な調整・連携を図ってきた。今後についても、主管課が責任を負う中、必要に応じ、企画部が中心となり、分野を横断した連絡調整を行っていく。

『その他の質問項目』

新年度予算編成について
・国からの財源による影響は、どのようにあらわれているか

・増大していると思われる市民生活の厳しさに対応する施策をどのように反映しているか

第四次総合計画について
・下水道使用料の値上げの影響について

・ジオパーク構想の推進等、観光戦略を重点に考えるべきではないか
・外国人観光客の受け入れ

態勢について
・行政・市民・観光関連団体が連携した組織の設立について



伊 東 駅 前

近年急増する買い物難民に対する自治体としての対策について



公明党
楠田一男 議員

「住みなれた地域でいきいきと暮らし、元気で安心して生活できる社会を目指す」との市長の言葉には、全く同感であるが、日用品の買い物が困難な買い物難民は、高齢者を中心に全国

で六〇〇万人にも上ると言われており、深刻な社会問題になっている。

国による支援策も始められたが、限定的なものになっており、地域経済の疲弊や地域社会の崩壊も絡み、放置できない問題であることから、自治体としての対策も必要であると考えているが、いかがか。

民間主体の取り組みに對しどのような支援ができるか検討していきたい

市長

経済産業省では、ことし一月に買い物弱者支援事業を創設し、県も、地域商業の活性化を目的とした地域商業パワーアップ事業により、買い物難民の利便向上を図る取り組みへの助成制度を設けたところである。

本市では、民間主体により、スーパーの宅配サービスや、マイクローバスによる分譲地への定期運行等が実施されているが、少子高齢化等に伴い、買い物難民の増加が予想されることか



日 用 品 売 り 場

ら、これらの取り組みに対し、行政としてどのような支援が可能かなど、検討していきたいと考えている。

『その他の質問項目』

救急車の有料化について
救急医療情報キットに関する方向性等について
森林の有効活用と保全対策について
教育施設の耐震化完了までの計画について
地域資源の掘り起こしと国内外の観光客の受け入れ体制の強化について
地デジ難民への対応について

「地域主権」のあり方について

一 般 質 問

4 議員が登壇 市政全般について質問

(登壇順に掲載)

児童・生徒の問題行動とその対応について



民主党・刷新の会
四宮和彦 議員

児童・生徒の問題行動には、さまざまなパターンがあり、そうした問題行動を網羅的かつ個別的に把握していくところから始めなくては、問題解決の糸口をつかむことは難しいと考えるが、問題行動の原因をどのように考え、分析しているか伺う。

また、認知された個々の問題行動に対し、学校・関係機関等はどうのような対応を行ったのか伺う。

特に、昨年来、学校側から繰り返し回答されてきた「指導」について具体的にわかりやすくお答え願う。

指導方法を研究し、指導の徹底を図る

教育長

問題行動の要因の一つは、

日々の生活の中での不安感と考慮しており、確かな学力を身に付け、自己肯定感や自己有用感を持って生活できるように支援していくことが重要と考えている。

個々の問題行動に対しては、その都度、保護者との面談や家庭訪問等を実施するとともに、その根絶のための指導方法を研究し、指導の徹底を図っている。

また、事例によっては、児童相談所や子育て健康課、警察等の関係諸機関と連携を図って対応している。

『その他の質問項目』

全国学力・学習状況調査における傾向と検証
教育指導員制度 ほか

学校等に認知された問題行動 (平成22年12月末現在)

万引き等の窃盗	21	件
暴力行為	14	2件
器物破損	53	件
授業放棄	67	件
深夜徘徊や無断外出などの家出	16	件
喫煙・飲酒	39	件
いじめ	39	件
不登校	93	人

旧庁舎跡地(松川藤の広場)をまちの活性化の拠点として有効活用する考えは



正風・興志会
土屋進 議員

旧庁舎跡地は、暫定的に「松川藤の広場」となっているが、商店街、観光施設、文化財等が近隣に存在することなどから、まちの活性化の重要拠点と思われる。したがって、市街地活性化の核となる施設の建設を望むとする市庁舎跡地利用構想審議会の答申を踏まえ、有効活用を図るための計画を策定し、「観光のまち伊東」にふさわしい施設の建設を求めるが、いかがか。

周辺施設との関連性も考慮しつつ、隣接地との一体的な活用を含め検討していく市長

現在、松川藤の広場は、年間を通じて、市民の憩いの場として活用され、また、



松川藤の広場

各種イベント時には多くの
方が訪れるなど、大変なに
ぎわいを見せており、市街
地の貴重な空間であると認
識している。
同広場の有効活用を進め
るに当たっては、周辺施設
との関連性も考慮すると
もに、将来のまちづくり
に備え、隣接地の用地買収
も計画しており、一体的な
活用を含め検討していく。
『その他の質問項目』
伊東オレンジビーチの整
備について
東駿河湾環状道路の開通
に伴う荻地区における道
路整備の方針等について
「鹿島踊」の無形民俗文
化財への指定について

介護を必要とする方への
市の対応策及び特養増設
の考えについて



日本共産党
大島春之 議員

平成二二年度に発足した
介護保険制度は、一八年度
の見直しにより、介護認定
方法が変更され、それまで
利用してきたサービスを受
けられなくなるといった問
題などが生じた。

一三年度は制度見直しの
年度であるが、介護を必要
とする方々が適切な支援を
受けられるよう、市の対応
策を伺う。また、入所待機
者が四〇〇人を超えている
中、特別養護老人ホーム増
設の考えはないか伺う。

制度の中で適切な支援が受
けられるよう要望していく
市長

平成二四年度から三九年
の第五次介護保険事業計画
策定に向け、現在、高齢者

の意識調査表を集計し、分
析しており、この結果を踏
まえ、介護保険制度の中で
適切な支援が受けられるよ
う国に対し要望していき
たいと考えている。

また、特別養護老人ホ
ム等、施設整備の必要性は
認識しているが、財政負担
や保険料の値上げ等も勘案
し、検討する必要がある。

なお、四月には特別養護
老人ホーム伊豆高原十字の
園が三二床増床されるほか、
二九人定員のミニ特養の整
備も計画されている。

『その他の質問項目』
広域避難場所である西小
体育館の改築計画
長引く不況の中、就職で
きない若者等への支援策



増床・新設される伊豆高原十字の園

伊東市スポーツ全国大会出場
賞賜金制度のさらなる拡充や
条件の緩和について



清峰クラブ
井戸清司 議員

近年、市内では、スポー
ツ少年団から社会人に至る
まで全国レベルの選手を数
多く輩出しているが、現行
の伊東市スポーツ全国大会
出場賞賜金制度では、交付
対象を全国大会に限定して
おり、国際大会や東海大会
は交付対象外となっている。

また、全国大会に対して
は、開催地の遠近にかかわ
らず、賞賜金額は一律であ
り、経費負担を考慮すると、
現行制度を見直すべきと考
えるが、いかがか。

東海大会出場者等への交付
や増額等の制度拡充につ
いて検討していきたい
市長

平成二〇年度から、スポ
ーツの振興及び競技力の向

上を図るため、全国大会に
出場する者または団体に対
し、賞賜金を交付しており、
特に、小学生のクラブチー
ムの活躍は目覚ましいもの
がある。

全国大会の開催地によ
つて、選手等の負担がふえ
ていることは承知しているが、
現状では、開催地によって
交付額を変更する考えはな
いものの、東海大会出場者
等に対する交付や額の増額
などの制度の拡充について
は、今後検討していきたい。
『その他の質問項目』
競輪事業における単年度
黒字を継続するための具
体策について
地域農業政策について



市内クラブチームが出場した全国大会

常任委員会だより

～ 常任委員会審査の中から～

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

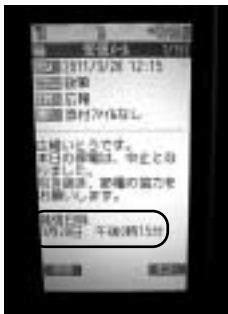
総務委員会

問

警報など同報無線による広報の充実・改善について伺う。

答

難聴が解消されない地域もあることから、補完措置として、メールマガジンへの登録をお願いしてきているが、よりの確な情報をお知らせするため、メールに発信時刻を入れることとした。なお、「非常の際には、サイレンが鳴ったらすぐ避難する」ことを徹底したい。



市役所からのメールマガジン

問

散乱ごみ・不法投棄防止対策について伺う。

答

美化推進班を設置し、不法投棄の減少を図っているが、悪質なケースは、警察と連携して対応している。

なお、今後、地上デジタル放送への移行に際し、テレビの不法投棄が懸念されるが、パトロール等防止策を強化していく。

観光建設委員会

問

伊東公園整備事業の内容について伺う。

答

新年度から3カ年で園内の歩道を整備するとともに、ホタルが生息する池や山の展望施設などの整備を行い、新たな観光スポットとして、施設の充実を図っていく。



整備が進む伊東公園

問

伊東駅前駐車場の使用料金の見直しについて伺う。

答

駅周辺の駐車場の低料金化に伴い、現行料金では高くなっており、駅前における車の通行量や観光客の動態などを勘案し、料金改定について、今後検討していく。

問

マリンタウン建設事業の内容について伺う。

答

音を発するイベント時において苦情が多い太陽の広場にかえて、プロムナード中央にイベントスペースを整備する。

福祉文教委員会

問

コミセンにおける食料等の備蓄状況について伺う。

答

常備していないが、災害に合わせた対応をしていく。

問

老人憩の家城ヶ崎荘と保健福祉センターの建てかえについて伺う。

答

老朽化が進行しており、耐震性も劣る施設であるが、用地や財源を初め多くの課題がある中、総合的な判断を行い、方向づけをしていく。



保健福祉センター

問

健診等においてADHDや適応障がいなどの状況を把握しているか伺う。

答

昨今、乳幼児期における発見が重視され、早期に医療機関等につなげる対策が進んでいる。また、乳幼児等の健診では、医師の診断を仰ぎ、言語や運動等に対する発達検査も行っている。

注意欠陥・多動性障がい

特別委員会報告



議会改革特別委員会

議会インターネット中継及び改選期における決算の取り扱いについて結審

一月二日、二月一日に委員会を開催し、議会インターネット中継について、「本会議及び委員会中継もあわせて、ライブを含めての実施を目指す。議案ごと、また、代表質問・一般質問については、質問者ごとに検索できる機能を付加する」との結論に至った。

また、改選期における決算審議を、改選前とするか改選後にするかについては、五会派は、決算審議の結果を次年度予算編成に反映させる上から、代表質問の省略か、代表質問通告を早め、会期を短縮して、改選前の九月定例会において審議すべしとの意見に収れんされた。

一方、一會派は、腰を落

医療問題特別委員会

ち着けた審議が必要であり、改選後の臨時会または二月定例会において審議すべしとの意見であったことから、これら二案を併記し議長に報告することとした。

なお、以上の内容に関し、三月定例会において最終報告を行い、本特別委員会を終息することが確認された。

新病院建設に関する財政負担の見通しについて報告
二月七日に委員会を開催し、新病院建設に関する財政負担の見通しについて報告を受け、協議を行った。

建設総事業費は五一億五〇〇万円の見込みで、主として四五億九〇〇〇万円の起債により賄う。

三〇年償還とし、一般会計からの基準繰り出しのほか、指定管理者からも毎年九〇〇〇万円負担していたと予定である。医療機器

整備は指定管理者が行い、市は、医療施設設置基金から一五億円を限度に負担する予定である。

以上の報告に対し、建設事業費が減額となったことを踏まえ、指定管理者の負担分に関する質疑がされ、設計段階の金額であり、再算出の必要はあるが、九〇〇〇万円を基準に協議を進めたいとの答弁がされた。

また、起債に対する償還方法等に関する質疑には、据置期間の短縮による金利の縮減を考慮しており、利率の動向は常に注視していきたいとの答弁がされた。

南伊東駅からのアクセス整備に関する質疑には、指定管理者には職員宿舍建設の意向もあり、白紙状態である旨の答弁がされた。



新市民病院安全祈願祭

6月定例会の予定

(いずれも午前10時から始まります。)

16・17・20日 本会議(一般質問)

21日 本会議(議案審議)

常任観光建設委員会

22日 常任福祉文教委員会

23日 常任総務委員会

28日 本会議(最終日)

6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。

編集後記

東北関東大震災で亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

伊東市議会では、被災地はもとより、市内への間接的な影響も深く憂慮し、東北関東大震災災害復旧、復興に対する支援決議を行いました。市内経済を守るためにも市民の皆様とともにがんばりたいと思います。

(委員長)

議会報編集委員会

委員長	重岡 秀子
副委員長	稲葉 富士憲
委員	西宮 和彦
"	西島 彰
"	榎本 元彦
"	楠田 一男

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一号
TEL(三三)一九八一
FAX(三八)六九一六